



文政之元年晚秋  
 或人<sup>乃</sup>学人虫と写以  
 後、満書、再写、

特別  
 千12  
 3643  
 69(1)



世海流始 破序氣  
凡音曲ノ傳ハ内ニ有ト云

〇、ろ、ゆ

世海流始 破序氣

一次才五段本从略うしははきといふて  
五段こ

腕ノ出場にて、いよめ以ヨリ陰ナリ陽ニナレ  
りて陰陽ソ急て祝之能本立トス  
凡四糸子ノ吟ハ一番曲ニアリ

一 道行ゆうけんノ吟ニメナルホトツヨクカへし  
オモキ助音スヘシ越ニテ道行ハヤクも多ク  
吟ナレハ耳能ハナルホト吟ツヨク

一 腕能ハ有夫ノ声トいふて五段ノ越ニて幕  
上ルシツメスアリ踏トメル一声トいふ謡いし  
大ゆこ ちがー 八頭歩子もろ 大小おこ

一 音法ヨリ塵をかふよニテ下ニサアリ  
凡音曲ノ傳ハ内ニ有ト云

一 同若石 吹うツヨク カケ合マノ又ケ又ヤウニ 序破急ト  
ウタフベシ

一 クリ 吹うツヨクウケヲ立テ サシハクセマヒノ序  
サシハ滝ノ如シト云

一 古曲舞 吹うツヨク 序破急ヲモニ 謡へシ  
居曲ハ同音ニ公大ノ上ハヨリ立

一 論義ハ口キ日音ニ 謡ふ如シ  
曲ハヨドミノ如シト云

一 後出 謡ハツキリトシニシニアラシヤ

一 狩衣ノ色 青赤ハ早キ位 迷キ 依之拍子モ  
心有ト云 口傳シ

一 多分ノ舞ヲ 祢舞ト云 口キ能ノ 謡格心持  
多分ヲ本トスル者 舞始ト不返スルト  
云アリ

一 本ノキ能ト云シ 日本ハ陰陽和合ノ道ヲ以テ

祝言トス  
コレニ慕ノト云有ヲ以テ祝云ノ吹ウシ

### ○ 雜波

板戸始 位破急

亦ウヲ 雜波ノ 音ヲ かり 音ノ

夜ヲ 祢舞モ 音ノ 拍子ヲ 持テ 舞ノ  
字ヲ 音ノ 音ノ 音ノ

### ○ 白樂天

世海流始 位序破急

一 中入ライ 序 常 中入ニ アラサルシ

### ○ 竹生山

始 不知 位序破

一 シテ 音ノ 音ノ 音ノ 音ノ 音ノ 音ノ  
一 シツメスノカワノ 謡格アリ 曲上ハヨリ立

○ 野宮

世阿弥始 位序破序

一次才地久し誦テ又呂<sup>リョ</sup>ノ次才ト云テ下音ニテ  
大夫ノ一返カスルヲモアリ。位閑ナリ

一 待遠 アイシヨウノ吟<sup>ウ</sup>

一 後ニテ出廻<sup>ウ</sup>ヤウケンノ吟<sup>ウ</sup>

一 序舞 甲<sup>カシ</sup>ノカリト云<sup>ウ</sup>智アリ

一 引<sup>ヒ</sup>テモヲクリテモ行<sup>ク</sup>地ニテモ 柏子アワ又故  
火宅トメトテ大小<sup>ウ</sup>カス

○ 遊<sup>ユ</sup>リ柳

禪竹始 位序破

一 道<sup>ミチ</sup>ノノ歩切<sup>ウ</sup>口傳トス

一 中入<sup>ナカイル</sup>狂<sup>キヤウ</sup>云ヨリ札ヲ取<sup>トル</sup>望<sup>ノゾミ</sup>スル<sup>ル</sup>ヲモカス

○ 那<sup>ナ</sup>郭

一 唐<sup>カラ</sup>笠<sup>カサ</sup>着<sup>キ</sup>ル<sup>ル</sup>ヲモアリ

一 次才ニカサヲ 雜<sup>シラ</sup>スト云<sup>フ</sup>テ口傳

○ 山<sup>ヤマ</sup>姥

世阿弥始 位破急

此<sup>コノ</sup>謡<sup>ウタ</sup>内<sup>ウチ</sup>ニ口傳<sup>クハツ</sup>乱<sup>マシ</sup>曲<sup>キョク</sup>アリト云 又<sup>マタ</sup>ハ  
カン<sup>カシ</sup>曲<sup>キョク</sup>トモ云<sup>フ</sup>

○ 松<sup>マツ</sup>風

世阿弥始 位序破

一 狂<sup>キヤウ</sup>心<sup>シン</sup>お<sup>ウ</sup>狂<sup>ク</sup>

一 本<sup>ホン</sup>ノ声<sup>コエ</sup>落<sup>ツク</sup>トメ 風<sup>カゼ</sup>出<sup>デ</sup>シ<sup>テ</sup> 才<sup>サ</sup>同<sup>ドウ</sup>カス

一 シド<sup>シド</sup>キ<sup>キ</sup>ハ 乱<sup>マシ</sup>系<sup>ケイ</sup>ヲトクガ如<sup>ニ</sup>

一 クド<sup>クド</sup>キヨリ<sup>キヨリ</sup>キリ<sup>キリ</sup>迄<sup>マデ</sup> 意<sup>イ</sup>暮<sup>ク</sup>衣<sup>イ</sup>傷<sup>キ</sup>ヲカ子<sup>コ</sup>テ

一 物<sup>モノ</sup>着<sup>キ</sup>ニ大<sup>オホ</sup>鼓<sup>ツヰ</sup> 互<sup>タガヒ</sup>に<sup>ニ</sup>カト云<sup>フ</sup>テノアリ

一 後<sup>ノチ</sup>ノ声<sup>コエ</sup>合<sup>アヒ</sup>ニナリ大<sup>オホ</sup>ヲヤメテ小<sup>コ</sup>ヨリ<sup>ヨリ</sup>之<sup>ノ</sup>瀬<sup>セ</sup>川<sup>カハ</sup> 謡

大全内ヨリ記

松風ノ物着真モキトテ定アリ大小コイ合  
四ツカリ五ツカリ迄テ小ノ甲ヨリ謡出ス  
松風一番

一笛ニつふかしと云ふアリ

○宋女 世阿弥始 位序乱急

一龍子持多根ト云ハニ大教之根ト云ふアリ

○夕顔 内夏た始 位序破

一シテ出ハ 鼓吹アリ

一ヒヲムシ シテニ付テ智ヲ口傳

○之費 世阿弥始 位序乱急

之美感 通感胡也 三才ノ修成ニ大コアリ

一物改之矣感ノ中入ホ此ナク位ハカリシ心成ル

シツカニサワカシカラヌマウニ流ルヘシ

○柏崎 世阿弥始 位序破

世阿弥後シテヨリ真ノおね

一頼也 大返し 花道ニモ おもひや大返し

○芭蕉 世阿弥始 位序破

一拍子ノかけ位用 立毛ノ出し 文字ノ皮肉ノ  
間ツツミヲウクルヲイキヨミイキマハコ以心  
傳心

一曲ニ舞ノ内イキ間抱くも大子ノ去ニヨリテ  
曲ノ出し千金莫傳ト云ナリ

満考云右之次第芭蕉ノミニ限ルカラス

○ 万葉古歌

世は初位破席

一 よほやこまは色まて

行かり一せいで云



陰ノ衣

一 一ニハ、フニ

はあまのちりて云  
老松ノ影能ノ云交ノりカ老松ノ本ニ  
記ニタル故ニ

去用云よまお侍くま

写し

○ 海人

一 花ニツオウキト可離走ノ離シ頭ニ電ヲ  
戴タル能ナハ後ノ出ハヨリ取分勢ノ又ケ又  
ヤウニ可離

一 花ニカルキ一セイシ 吟ウツク然レハルクル  
雲ナドハ和ニツヨクテハ本道ニ遠フ

一 シテイヤシキ海人ナレバ其心持肝要ニ  
融ナドノヤウニナラヌヤウニ

一 水鳥从ト云フアリ

一花ニ是コソ身ノ母あま人乃 是ヨリ真ニ  
可難 切ニ致智口傳

一後ニテ出場をコ哉 二後返口傳 海トメ又  
一セイニ

一花ニ後ノ出場をコアリ 一声急 二後返ト云  
アリ其時ハ後ハ且後カセ後カニ難ス  
當テト曰あ於傳アリ

一花ニ序破急ノ舞ニ太コ笛ノカリ大支  
大臣へ経ヲ渡シ愁歎ノ時ニ舞ニカルヘシ  
吹カリト云一説泣カリト云

### ○謡る天狗 現在鬼

一花ニ善界ト大方似タル囉シ細道ノ鬼ニ太郎坊  
浦那王ニ心ヲ掛ル艶シキ舞ニ位ハ善界ヨリ早シ

一サ々付ト云コアリ口傳

一玄用云曰白出立ノ時極習シ他流ニ白善界  
ト云コアリ當流ニ母シ 年経テ位ル天狗ト云  
後リテ當流ニカキリテ白出立ノ傳み之ト

白頭トナルシ

### ○系流

一盲人心持傳

松門出ヲ平家ノ心持ニ唄フト云一節アリ代々ノ  
家傳ニキキコシ 理屈ヲ以テ云時ハ平家ト云  
ウ名物ハ平家ノ時代ハナキ筈コ

一秋キ又ト目ハサマカニ見ヘ子氏

此カケ合ニ両方ノ獨コトニあヲウケズ女間ヲオキテ  
心ヲハナシテ唄フヘシ

一 実を換乃人をいひ及ていひて

家ノ文句思ヒヨリ弁生問レテ急ニ偽答ユル故ニ  
返答女エトリアリサモ浅る者ヨリサナカラ他人  
憐ニ云ツクニ誅ニヤカニ云偽ニ示女シキリヨリ  
例ノ短ニ云

一 ちあつく 系信乃涙りいひ

世心カケ近しと心大いづをて系信ナル事ヲ  
アラハサント思ヘルキノハカリコトナレハコハ高ニナガク  
呼カクル心ユエをキ心ニ呼ナリト

一 日向トハヨリホナクサシヲ申サンとノ一辺仕舞  
静ナル故ニ流子ハシ流ハ仕舞サホドニ世キ  
故シヤント流フ去ナカラ早キハ急ニ

右五ヶ所、玄用云より付

一 系信是ヲ見テト云云ニ至極大なる切あり

アリ此切松風氏ニ其番ニアル事ト云

一 若春閑本ニハた右へキニケリト有

一 一夫之累ハ不たし 悟道

一 今とハつ、み隠すと 愁傷 遙出ウツリ大事

一 昔已すまぬ物語 迷懐懐旧

### ○ 常 座

織物清親曰増面ハカツラノ面ニ眉ノハ子タル也  
羽衣ナドモカケ候 化女ノ類ニカクル面ニ常ノ女ヨリハ  
氣立キ心ニモ蘇ノ位早カラス 閑ナラスムツカレキ  
ソレ故鼓打 終美カル事ニ是ニテ工夫スヘシト



○朝長

一ふし取也ふし取者ちのへ我あふふ  
か換ふ向ふ信ノアルト心ニ入テアテ、流ハガレハ  
ホウコニナルソレヲ主ナキ流ト云

一一番平家信隆ノ位ニスルヲ傳アリ

一後出羽一平家 懺法太コ出頭數定アリ大小ノ  
付ヤウアリ太コニ摺ト云フアリ又向ツカヒノズト  
云フアリ笛ニ吊笛ト云フアリ笛大小太コ何トモ  
傳アリ幕ノ上ハ大支出所口傳

一<sup>前</sup>あまはせいそくかちや清ふま

ハ島ヨリ閑 尚混リ前平家信隆ノ心ニ流フ傳

右玄用云より

一待流前ニ間ノ者ヨリ待賢門院ノ夜軍ノ事ヲ  
問カサル時ワキノ語アリワキ方ノ事

西村三郎兵衛ニ云

一昔時流ニ通感朝長ニ感ヲ寄信隆ト云  
者位閑

○二井寺

子ヲ辱ル謀ノおぼし

一<sup>一</sup>花ニイヤシキ狂女コハキクトヨク可難走ノ難

一<sup>一</sup>舞臺中程ヨリ先へ出ツガイ舞ム是ヲ念誦ト

一<sup>一</sup>況観念氏佛前テ赤情一邊ニテ至誠ニ

一<sup>一</sup>心持コ初ヨリ感久ニ紛ルサル換ニ赤軍ト  
二井寺コト知ルヤウニ工夫スヘシ

一後一声越不 破急 急ニ輕キ一声

一曲大事ニ 謡下坐ノ時下ノモ上ノモ先  
以曲ヲ謡フハ 出玄 急慕 速懷 懷旧ノ四音ヲ  
唄ヒタル故也

一山寺此 出玄 一七外曉乃 急慕

一又急乃 速懷 一月急乃 出玄

一 <sup>キリ</sup>カクモ 速懷 一 祝云

一此キリノ内ニ 謡ト云フ 四アリ大夫只一度  
謡ヲ見ル所アリ 此能ノ習ハ侍ニ

又結能ト云フアリ 三井モ其申ナリ 口侍

# 〇河清

此詠破能ノ内ニテ 大平ノ能ニ 下ノノニテ  
面白カラ又能ニ

一 尉ハコビテ 詠フト云 智ハナケレトコビ子バ面ニ  
ウツラ又ニ

一 引綱モト云 括ナル交アマクナラ又ヤウニ 謡フカ  
尉ナドハ元ヨリノ事

一 花ニ 夫ノヤセ男ノ面ニ

一 後ノ出ニ 搜男 又蛙面ノ一モアリ 蛙面ノ時ハ  
位格別開ニ 面ノ心ユ夫スヘシ

一 キリノ 謡 モナナシニヒツハリテ 行拍子カヨキニ  
右玄用云

○春の祀

一花ニ幕屋ヨリ出ル程ノ間五尺餘ニ此難  
大子ノ一童神ノ働ナレハオロソカナルアリ  
アラス

○ソ花の道

- 一我々も程おもしろいよ
- 一乃三以ふ歩大返シノ時知事以て
- 一苗を也天照皇ニ奉ル心
- 一少の氣ハ 志慕
- 一おまいりや 志慕

一獨吟ノ時おキリノ事

鼓おキラストおキラセ又トノ傳サシノ地ノ付ニ  
木子夫人の内別をを欲き給ひ

一此後ノ曲益大なり

玄用曰  
此アリト

一ハヒフへホノ濁字ハ唇ノ先ニテ扱フ

父帝に奏し給ふやう

○源氏供進

一源氏ノ供進

此供進時有表白云物以之作此曲と云

台林説

一此中入三間ナシ故ニツツレヨリ源氏ヲ編タル  
子細ヲ問カクル時ワキノ拙決アリワキ方ノ  
巧シ長短ニ通程有之由

西村三郎兵衛ニ字

一花ニイロノ舞ト云フアリ関寺能野源氏  
ニ字有ニアリ

一世曲流ヤウ一句ニ句切明カニ可視ニ源氏  
舞々ノ名目能クキユルヤウニトシ

一花ニキリナ真ノキリシ

# ○あな

一花ニ送りサラト可唯

一花ニツトメノ内強クケナゲニ可唯

一勸進帳拍子お侍ノ時始メヨリ本ノユル  
ト玄用被申 炎通モ有テ侍ニお遠アル

一花ニサシシリ述懐ナレハハヤカニ浮立心ニ  
居曲述懐 アラズ

一花ニ舞侍前ノ舞ニアラズ関守ニ由ルセ又  
舞ナレハ又カリタルトナシ大聖ニ舞ト云  
山門流後ノ就舞ノ多シ舞女山門ノ  
生立ニテ也ニ此舞ヲモテアソフトシ  
切サラト可唯大夫イワク仕舞シ  
舞破急シ

○ 浄木

一花ニ男ノレウトモ云

一花ニ面笑ノニ瘦男位通出所ト善気トノ  
間に餘イヤシカラ又男ニ

一花ニ花コナキ舞ノ内ニテノ急ニ

一花ニ切舞ノ内ヨリモヒキハヘテ舞カルク  
ハヤカニ可憐タルニテハ丈夫仕舞ナラス  
切ノ苗ハ破ニ留ル

○ 之 輪

一花ニ陰ノ次ナリ 甲名系淋ニキ風体ニ

或 別 虫 ノ 中 ニ

カッ

働ノ中足ヲユマカニシテ又アラカニ踏コト  
アリ是雷ノナル音ヲ表スル子細ニ









